

2013年3月5日

日光ケミカルズ株式会社

ニッコールグループ、化粧品原料の国際的 GMP 認証を取得。 業界初、本社で授与式

ニッコールグループの日光ケミカルズ株式会社（本社：東京都中央区日本橋馬喰町 1-4-8 代表取締役社長：関根 茂）は、同グループが国内化粧品原料メーカーとして初めて、EFfCI の GMP 認証を取得したことを発表した。この GMP 基準は、ベルギー、ブリュッセルに本部を置く EFfCI: European Federation for Cosmetic Ingredients（欧州化粧品原料連合会）が策定した化粧品原料に特化した GMP（適正製造規範）で、策定に際しては IPEC-POG（医薬品添加物国際協議会 - 医薬品品質グループ）による「医薬品添加剤に関する GMP 指針」を基盤として参照し、ISO 9001:2008 の枠組みを採用しているが、ISO ではカバーしきれない要件を GMP 要求事項として含むなど、厳格な規範として知られている。

このほどニッコールグループで化粧品原料の製造を担当する日本サーファクタント工業（本社：東京都中央区日本橋馬喰町 1-4-8 社長：関根 茂）宇都宮事業所が EFfCI 指定の国際的認証機関 SGS による審査を受けた結果、要件を満たすとして、2月8日付で EFfCI の GMP 認証が発行され、2月28日に、日光ケミカルズ本社において認証書授与式が行われた。認証式では、認証機関 SGS ジャパン株式会社の曾我正博代表取締役より、関根社長に認証書が手渡された（写真：GMP 認証書を手にする日光ケミカルズ 関根社長（左）と SGS ジャパン 曾我代表取締役）。

EFfCI の GMP 認証は、これまでに欧州を中心に 17 社が取得しているが、日光ケミカルズ（日本サーファクタント）は 18 社目、日本の化粧品原料メーカーとしては初めての認証取得企業となった。EFfCI では、化粧品の原料の品質は、最終製品である化粧品及びパーソナルケア製品の安全性、品質及び効果効果を確実にするためには極めて重要な意味を持つとして、化粧品原料のための独自の GMP の策定を進め、2005 年に導入した。

ニッコールグループでは、今回の GMP 認証取得は、日本サーファクタント工業の技術力、製品の品質、製造工程・環境に関する管理体制などが多面的に評価されたものであり、同グループが提供する製品・サービスの品質・安全性を証明するものとして国内外で積極的にアピールしたいとしている。